

# 聖霊なる神が

聖霊なる神が わたしの  
歌を 賛美に 変えてくださる

このくちびるは 神をたたえる  
このくちびるは イエスをたたえる

# 「主の栄光宮に」

(Ⅱ 歴代誌7:1)

主のえいこう みやに

主の平和 うちに

主の喜びが満ちあふれる

イエスのみなにより 罪きよめられ

いま 聖霊がこころに住まわれる

新聖歌416番 「聖霊来(きた)れり」

1 いずこにある島々にも いずこに住む人々にも  
喜ばしく宣(の)べ伝えよ 聖霊来れり

\* 聖霊来れり 聖霊来れり 天降(あまくだ)りし慰め主  
地の果てまで 宣べ伝えよ 聖霊来れり

2 暗き夜は開け放(はな)たれ なげく声も今はやみて  
目に入(い)るもの みな輝く 聖霊来れり

\* (くり返し)

3 君(きみ)の君に解き放たれ 自由なる身とせられし者  
勝利(かち)の歌を高くあげよ 聖霊来れり

\* (くり返し)

【次】

新聖歌416番 「聖霊来(きた)れり」

4 いとも深き愛と恵み いざ迷える罪びとらに  
語りつけて神の子とせん 聖霊来れり

\* 聖霊来れり 聖霊来れり 天降(あまくだ)りし慰め主  
地の果てまで 宣べ伝えよ 聖霊来れり

5 み使いらも神の民も むげんの愛をほめたたえて  
天(てん)にひびかせ 地に満たせよ 聖霊来れり

\* (くり返し)

アーメン

## 使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。  
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。  
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、  
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、  
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、  
三日目に死人のうちよりよみがえり、  
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。  
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。  
われは聖霊を信ず。  
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、  
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、  
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌414番 「主は力をわれに注ぎ」

- 1 主は力を われに注ぎ その救いを 成したまえり  
恵みにより 日々たもたれ 愛の炎 心に燃ゆ  
\* 愛の炎 天降(あまくだ)りぬ 愛の炎 心に燃ゆ  
御霊(みたま)来たる 神をほめよ 愛の炎 心に燃ゆ
- 2 主は代価(あたい)を すでに払い そのきよめに  
入れたまえり わが献げし 供(そな)えものを  
天(あま)つ炎 焼きつくせり \* (くり返し)
- 3 贖(あがな)われて 子となりしは わざによらず  
恵みによる その恵みを ほめたたえよ  
愛の炎 心に燃ゆ \* (くり返し) アーメン

## 主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの  
おお みかみに

ときわに たえせず  
みさかえあれ  
みさかえあれ  
アーメン